

所蔵資料紹介 (特定歴史公文書等)

東京大学「紛争日誌 その2」(1)

秋 山 淳 子

「紛争日誌 その2」について

前号に引き続き、東京大学による大学紛争の経過記録「紛争日誌」を紹介したい(当該資料群の概要については本誌第37号を参照)。今号では、1968(昭和43)年7月3日～10月31日を対象とする「その2」より(1)として7月分を翻刻する。この期間では、第一次の大講堂占領・機動隊導入を経て、次第に問題意識が学内に広がる様子が、大学側の視点から詳細に記録されている。

なお、翻刻に際しての注意点や凡例については、前号に記載されているので、そちらを参照されたい。

「紛争日誌 その2」(1) (1968(昭和43)7月3日～7月31日)

7月3日(水)	0:45	施設部会議室に毎日新聞・東京新聞の記者が取材に訪れ、そのさい学生側が次のことを述べていたとのことである。 { ①本部封鎖後毎日大講堂内で集会を行なう。 ②夏休みに関係なく行動を続行する。 ③今回の行動は本部封鎖であり、職員の出入を阻止することである。 ④入らしたくない者(注:本部職員、民青系学生等と考えられる。)は入れない。 ⑤大講堂を行動の拠点とする。 ⑥確認していないことではあるが、奨学金関係事務を対象から除く。
	4:20	経理部の自動車庫に学生がきて「大講堂周辺の建物は我々が管理するので、ここを退去してもらおう。」と告げ、職員を追いだす。そこで自動車3台と共に車庫を退去した。
	8:00	大講堂正面玄関前両側芝生および庶務部、学生部の各入口付近に下記の立看板を出す。 「大講堂を占拠している学生は、直ちに退去しなさい。 昭和43年7月2日 東京大学」
	8:10	大講堂が占拠された事態を各研究所長・各評議員に連絡
	9:48	学部長会議開催(農)
	10:30	大講堂正面玄関前で一般学生(民青・大学院学生を含む。)30人位が占拠学生10人に対して数グループに分かれ占拠を解くよう説得を行なっている。
	11:26	学部長会議終了
	11:30	大講堂正面玄関前で一般学生50～60人位が占拠学生10人位に対し説得を続行している。

11:30	<p>大講堂正面玄関前に立看板が出る。</p> <p>(要旨) 時計台の職員諸兄に告ぐ</p> <p>我々は職員諸兄を時計台から追い出すために斗っているのではない。(中略) 職員諸兄は大学当局=権力側につくか、我々と一緒になって権力と斗うか。</p> <p>職員諸兄が時計台から出してもらったことは結果であって理由ではない。結果と理由を混同してはいけない。</p> <p>本部封鎖実行委 東大斗争全学共斗会議 全学斗争連合</p>
11:55	<p>大講堂正面玄関、庶務部および学生部入口付近で庶務、経理、学生の各部職員がハンドマイクを使い学生に対し、下記の退去通告を5回連呼した。</p> <p>「事務局長から通告する。大講堂を占拠している学生は直ちに退去しなさい。」</p>
12:00	<p>施設部会議室に「法学部3年の田中の父親です。時計台を占拠しているような学生は、どしどし除籍できないのですか。私の子供は真面目な学生ですが、夜半まで彼等から呼びかけの電話がかかってきます。」と電話があった。</p>
12:50	<p>約300人位の民青系学生が大講堂周辺で占拠に反対し、説得あるいはシュプレッヒコールを行なっている。</p>
13:00	<p>法学部学生84時間ストに突入</p>
13:15	<p>事務局長名で2回目の退去通告を職員が連呼した。</p>
13:15	<p>全学斗争連合が大講堂正面玄関前で集会を行なう。文学部リーダー福本勝行がいる。集合学生は約40人位。</p> <p>その傍では、民青系学生らが数グループに分かれ本部封鎖に反対し、占拠学生と口論している。</p>
15:00	<p>大講堂内では討論集会が行なわれている模様。</p>
16:10	<p>事務局長名で3回目の退去通告を職員が連呼した。</p>
16:27	<p>学部長会議開催(農)</p>
18:10	<p>占拠学生が大講堂の集会に多数参加を呼びかけている。また民青系学生と占拠学生と口論しており、職員組合員の顔がみえる。</p>
18:26	<p>学部長会議終了(農)</p>
18:30	<p>大講堂正面玄関前の学生は10人位に減る。</p> <p>大講堂内部の学生は、一般学生の話によると約100人位と思われる。なお、映画「圧殺の森」を映写会が予定されているが器具の不備等により開演されていない。</p>
22:15	<p>大講堂第1会議室に電灯がついており、会議を開いている模様。また人事課連絡室にも電灯がついている。大講堂前南側芝生上で20人位の学生(派不明)が静かに話している。</p>

7月4日(木)	8:00	工学部学生無期限スト(7月10日まで)に突入したが、学科によっては授業が行なわれている。
---------	------	--

8:30	大講堂内の学生の動きがやや活発になる。 大講堂前北側の芝生上で2～3人の学生が話し合っており、法学部、文学部の入口附近も学生の出入がやや激しくなっている。
10:00	事務局長名で本日1回目の退去通告を職員がハンドマイクを使い連呼した。
10:30	大講堂前広場に各学部教官が占拠学生を説得のため集合を始める。
10:50	各学部の教官は約500人位となる。一般学生約250人位がこれを見守る。 法学部坂本教授がまづハンドマイクを使い話し合を呼びかけ、また理学部赤松教授が同様の呼びかけを行なう。占拠学生1人が大講堂3階の北側階段の窓からマイクで「我々は不当処分 of 白紙撤回を大学側が行なった後でなければ話し合いに応じられない」と話し合を断わる。このほか大講堂正面玄関前にいた占拠学生約40～50人位も教官との話し合を拒否の態度を示す。
11:06	大講堂前の各教官の呼びかけは一応終り、その後は各教官や一般学生が占拠学生と数グループに分かれ話し合いを行なう。
11:40	事務局長名で2回目の退去通告を職員が連呼した。
12:30	3回目の退去通告を職員が連呼した。
13:00	東院協約100人位大講堂前広場で集会
13:00	物理学生約50人位大講堂周辺をデモ
13:30	大講堂第2会議室において、「圧殺の森」映画会
14:30	4回目の退去通告を職員が連呼した。
16:30	大講堂内において「医学部問題について」の討論会が行なわれているもよう。
16:30	5回目の退去通告を職員が連呼した。
16:30	大講堂前南側芝生に学生(工学部大学院都市工修士1年)がテント2帖を張り機動隊導入阻止、大講堂封鎖支援の目的でノンポリテント村を作り座りこむ。
18:00	大講堂内で「圧殺の森」映画会
18:40	医学部中央館からM1の学生約20人が学内デモを行なった後全員大講堂に入る。
20:30	時計台周辺は各所に学生4～5位づつ話し合いを行なっており、玄関の出入りは活発である。
22:25	大講堂から学生が角材40～50本を搬出した。また正面玄関前で立看板で囲いを作りビラらしきものを燃やしている。
23:30	医学部中央館3階302号室でなにか燃している気はいがある。また病院前道路および薬学部記念講堂入口前道路に自動車2台が駐車、医学部中央館3階333号室の窓から学生が懐中電灯を点滅させ信号を送っている。

7月5日(金)	8:30	教養学部無期限スト突入。
---------	------	--------------

10:16	学部長会議開催（農）。
11:40	事務局長名で本日1回目の退去通告を職員が行う。
12:05	午前11時50分頃教養学部自治会が依頼したバス14台（関東バス50人乗り）が宇宙航研にきて、ここで待機しているようにとのことであったが、同研ではこれを帰した。駒場東大前駅で、青ヘルメットの学生相当数が集合、氣勢をあげているもようである。（宇宙航研大野課長補佐から連絡あり。）
12:26	学部長会議終了。
12:40	事務局長名で2回目の退去通告を職員が行う。
13:00	反民青系学生約1,200～1,300人位大講堂前広場に集合。
14:20	反民青系学生（教養学部約700人位、文学部約80人位、工学部約150人位）が大講堂前広場からデモ、理学部1号館－病院通り－医学部本館－赤門－電車通り－銀杏並木のコースで行進し、午後2時45分頃大講堂に入る。
15:00	大講堂内全学総決起集会が開かれ、学生推定約2,000人位が参加したもよう。（各新聞の記事には、約3,000人が参加となっている。）
15:10	大講堂前南側芝生で、薬学部学生有志約60人位が「本部封鎖を考える」とのプラカードを立て、教官と対話している。また庶務部入口前芝生で教養学部学生約50人位が待機している。
18:20	大講堂内の集会は終了したもよう。
18:25	集会終了後、大講堂から出た学生は、正面玄関前に集結、約300人位。（集会途中、逐次相当数の学生が退場したため、減少したものと考えられる。）集結後、2集団（1集団は教養学部、他の1集団は主として医学部）に分かれ、「処分粉碎」を連呼しながらデモに移り、病院前－竜岡門－本郷3丁目－正門のコースで行進、午後6時40分頃構内に戻る。
19:00	大講堂正面玄関前で約220人位が再集会を開いたが、まもなく、文学部、経済学部、新聞研の学生は離脱し、教養学部学生約150人位が残る。
19:00	医科歯科大のリーダー【個人氏名】が警察に逮捕された旨、テレビニュースで報道された。
19:45	大講堂正面玄関前集会解散。
21:00	大講堂周辺には、ノンポリテント村の学生数人が屯しているほか、人影なし。

7月6日（土）	11:00	医学部中央館3階に学生12～13人位がいる。同館地下は学生零。
	14:00	ノンポリテント村7張となる。 （新たに理・大学院理論物理、同地球物理および工・応用化学3年の各有志が加わった。）
	14:15	大講堂前で民青系学生約50人位、東職約30人位が集会を開く。

14:55	大講堂前で東院協の学生約 120 位が集会を開き、その後第二食堂前から病院方面へデモを行なう。
-------	---

7月7日(日)	10:10	ノンポリテント村 8 張となる。
	11:00	大講堂正面玄関には学生 3 人が角材をもち見張りに立つ。
	16:30 ~ 17:15	大講堂前広場で占拠学生 7 ~ 8 人に対し、理学部および他学部の学生約 40 人位が論争している。
	18:15	大講堂前広場で占拠派の文学部リーダー福本勝行ほか 1 人と、民青系学生約 20 人位が論争している。
	19:30	大講堂前広場で占拠学生と民青系学生合わせ約 30 人位が論争している。 法学部演習室で学生約 20 人位が討論している。
	20:15	理学系大学院自治会学生 3 人が大講堂東側掲示板にビラ貼りを行なっている。
	20:45	医学部本館前掲示板、教育学部玄関に学生 3 人が自転車で廻りビラ貼りを行なっている。 (ビラの内容) <p style="text-align: center;">通 告</p> <p>我々は東院協の下に機動隊導入責任追及、医不当処分撤回、豊川、上田辞任、大衆団交実現、大学の民主化をめざして斗っている。</p> <p>我々は「本部封鎖」を支持するものではないが、大学当局が機動隊導入をもって、事態を切りぬけようとするのには断固として反対する。我々は現在泊り込み体制を堅持してこれに抗議している。</p> <p>万一大学当局が全学的意思を無視して導入を強行する際は、断固たる阻止抗議行動を組む。それにより生ずる事態の責任は挙げて当局にあることを通告する。</p> <p style="text-align: right;">理学系大学院自治会</p>
	20:30	御殿下グランド上の山に見張りの学生 1 人がいる。
21:00	大講堂正面玄関前で印刷物らしきものを燃している。	
23:30	大講堂正面玄関見張り学生 2 人がおり、また自動車 2 台で構内をパトロールしている。 大講堂 8 階に電灯がついている。(大講堂 5 階の鉄扉を破壊したと思われる。)	

7月8日(月)	0:40	時計塔屋上に赤旗 1 本、黒旗 1 本が立った。
	10:00	研究所長会議開催(生研)
	12:15	研究所長会議終了(生研)
	12:30	ノンポリテント村 9 張となる。 (テントに生化、農化、応微研有志とある。)
	12:30	時計塔屋上にさらに青旗 1 本が立った。
	13:00 ~ 13:30	工学部応用化学学生約 70 人位学内をデモ行進。

14:00	<p>大講堂正面玄関前に立看板が立つ。          内容、7月9日学園斗争勝利          全都連帯集会 1時～安田講堂          産学協同路線－国大協路線粉碎          全国斗争の展望をきりひらけ          参加校          日大、医科歯科大、上智、早大、教育大          慶応、東洋、駒沢、関東学院大 他</p>
14:20	<p>病院事務部西側入口で病院物療内科、中尾内科および精神神経科医局員（講師、助手、研究生等）約55人位が集会を開き次の決議を行なう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 医学部学生の処分は不当であり、これを白紙撤回せよ。</li> <li>② 上田・豊川は退官せよ。</li> <li>③ 本日の集会を足場に今週木曜から土曜までの間にさらに集会を開く。</li> </ul> <p>具体的な点は世話人一任とする。</p>
16:10	<p>上記集会を終了後、医学部中央館－医学部本館－大講堂のコースでデモ行進した。          その中に物療の高橋暁正講師がいた。</p>
20:35	<p>医学部中央館3階で40人位が集会中であったが、午後8時30分現在は10人程度となった。          地下は不明。          大講堂内では討論が行われている模様</p>

7月9日（火）	10:00	学部長会議開催（医科研）
	10:00	大講堂第2会議室および4階階段窓に「国大協粉碎」「安保粉碎」「大河内打倒」「団交件獲得」「処分撤回」のピラが貼りつけてある。
	13:00	大講堂前北側芝生にテント村1張ができる。（大学院文化人類）
	13:20～14:00	大講堂内で開かれる全都連帯集会に参加のため法学部憲法研究会の学生29人、反戦同盟の学生4人、他大学の学生らしき者8人が入る。
	14:00	医学部学生が赤ヘルメット5ケをもって大講堂に入る。
	14:50	大講堂から出てきた学生の話によれば100人位が参加している模様。
	15:00	学部長会議終了（医科研）
	15:00	評議会開催（医科研）
	15:00～15:15	教養学部学生赤ヘルメット（中央に白線が入っている）6、同青ヘルメット6、医学部学生4、その他不明5計21人が大講堂に入る。
	15:15～16:30	大講堂の全都連帯集会で医科歯科大、東洋、慶応、教育大、早大、日大の各代表が連帯挨拶及び報告を行なう。
	16:30～16:35	教養学部代表報告

16:35	関東学院大代表報告
16:35	経理部入口銀杏のところで学生3人が大講堂の話を立ち聞きしている者を監視している。
16:35	大講堂前北側芝生のテント村は2張となる。 (新たに工学部航空有志が加わった。)
17:20	大講堂内の集会一応終了の様様。
17:40	工学部斗争委学生約70人位学内デモを行なう。
18:00	工学部冶金等の学生約35人位学内デモを行なう。
18:30	評議会終了(医科研)
18:30	学部長会議開催(医科研)
18:50	医学部中央館地下は学生零 同3階302号室には学生12~13人位が雑談している 同地下B03号室の黒板に「10日DM2クラス会開催」と記されている。
19:35	学部長会議終了(医科研)

7月10日(水)	17:50	法文1号室22番教室で法学部教官と学生の集会が開かれており、団交・処分、警官導入等の諸問題を議題として討議が行なわれている。
	18:30	医学部中央館は地下でM2、M3の学生約50人位がクラス会を開いている。 同館3階には学生10数人が雑談している様様。
	22:00	大講堂正面玄関前にて印刷物等を燃している。

7月11日(木)	16:00	<p>医学部中央館2階~3階バリケード横の壁に下記貼り紙がある。</p> <p>(</p> <p>1. M4. クラス会決議</p> <p>43. 7. 10 提案</p> <p>教授オルグ・医局員オルグ</p> <p>全学的におこりつつある医学部教授会内部のムジュンを拡大するため徹底して行なう。</p> <p>目標</p> <p>① 処分の白紙撤回</p> <p>② 機動隊導入への責任</p> <p>③ 報告医制度反対声明3項目要求</p> <p>④ 医学部民青化の諸問題について具体的やり方及び戦術</p> <p>16:24:6(保留):0</p> <p>各科教室で教授、助教授、助手、医局員、院生等最大限の階層を含む討論会と我々の参加を認めて開くことを要求していく</p> <p>提案</p> <p>可決否決によらず外部に出す決議に一切コメントを入れない。また省略しない。</p> <p>37:0:1 可決</p> <p>)</p>
----------	-------	---

		<p>2. M4クラス会決議 43. 7. 10 我々の斗争は次のことが確認されるまで全学斗として闘っていく。</p> <p>① 処分に関して 白紙撤回及び処分を出した責任を全学大衆団交で認められるまで（医学部差し戻しの場合も白紙撤回全学大衆団交を要求する）</p> <p>② 機動隊導入の件に関して 総長を含む責任者は経過を説明し自己批判し、声明を撤回し今後導入しないことを約束すると共に責任をとって辞職すること。</p> <p>③ 研修問題に関して 青医連を容認し、協約権を認めること。 研修医学生のことに関する決定は当事者間の話し合いで決定すること。（この項目は各学部要求即ち決定権への学生の参加と一致する。）</p> <p style="text-align: right;">31 : 6 : 0</p> <p>3. M4クラス決議 43. 7. 10 我々は本部封鎖、全学ストを背影として現在精神科医局を中心に闘われている斗について最大限協力すると共に他の医局オルグカンパの道を追求してゆく。</p> <p style="text-align: right;">27 : 11 : 0 可決</p>
	19:20	医学部中央館3階には学生7～8人がいる
7月12日（金）	8:30	<p>大講堂正面玄関および銀杏並木入口に次の立看板あり。</p> <p>東大斗争勝利のため</p> <p>7.16 全世界の反戦斗争 弥永健一、太田竜</p> <p>7.23 医学部（保険改悪と青年医師運動）</p> <p>7.30 人文系（朝鮮問題）</p> <p>8. 6 全学共斗会議（映画：河その裏切りは重く）</p> <p>8.13 全斗連（反戦集会）</p> <p>8.20 経済学部、法学部シンポジウム（財政硬直化と医療制度）</p> <p>8.27 理学部、工学部シンポジウム（技術論、科学技術運動）</p> <p>9. 3 全学総決集会</p>
	9:45	<p>東大斗争全学共斗会議および本部封鎖実行委と称する学生から「職員の私物で緊急必要なものは、物件名、所在、所有者名をかいたリストを作成し、明13日（土）午前10時まで大講堂の学生に知らして下さい。以後は断わる。」との電話あり。（以上電話江沢庶務課法規掛長受け）</p>

9:45	7月11日午後横田禎夫(前医学部自治会委員長 M2)が警視庁全学連集団暴力事件特捜本部員に【個人住所】の自宅付近路上で去る6月15日の大講堂占拠事件関係で逮捕された。 (以上7月12日毎日新聞朝刊所載)
14:30	山上会議所玄関および総合図書館前広場の木に下記の貼り紙あり。 { 最後通告 事務職員の私物は13日午前8時~10時に限り持出を許可します。 ② 私物のリストを提出、リストは私物の置いてある場所を明示すること。 私物は当方で責任をもって出しますので職員の立入りを禁じます。 私物は緊急不可欠なもの 東大斗争全学共斗会議
17:20	大講堂正面玄関横に下記の立看板あり。 { 不当逮捕弾劾、時計台封鎖貫徹 7.13時計台前集会 12時半 東大斗争全学共斗会議、医スト実行委
19:00	医学部本館前に立看板あり。 { すべての医局員、基礎研究者は7月13日病院、医学部大集会に結集せよ! 時2~6 ところ 医本館小講堂 スローガン 医学部処分白紙撤回 医教授会責任追求 大河内、上田、豊川は退官せよ。 主催 東大病院働く医師の会 東大卒業生有志の会 精神々経科医局
19:30	午後5時30分頃から学生120~130人が医学部中央館に集まり3室に分かれて、それぞれクラス討論を行っていたが解散した。 現在地下に学生4~5人がいる。

7月13日(土)	9:00~11:20	大講正面玄関前に庶務、経理、学生の各部職員約150人位が集まり、大講堂占拠の学生約10人位に対し「昨日学生側から通告があったが、各人で私物を持ち出したい」との要求を出した。しかし学生側は「各人からリストを出してもらい学生側で取り出して手渡したい。これは公物の持ち出しを阻止する立前からである」と述べたが職員は「私物の取扱いを他人に委任することはできない」として「大衆団交を行なえ」との声が出たが、結局学生側は前日の通告を撤回し、7月15日(月)までに私物の持ち出しにつき職員側の意見を検討して回答することとなった。
----------	------------	---

	11:00	<p>医学部本館前に立看板あり</p> <p>昨日自宅路上で M3 y 君不当逮捕、東大当局と官憲一体化した弾圧糾弾</p> <p>民青右翼斗争破壊許すな</p> <p>時計台封鎖全学ストで闘いぬくぞ</p> <p>7.13 時計台緊急集</p> <p>全斗連医学部スト実行委</p>
	12:30	大講堂正面玄関前に大講堂占拠派の学生約 100 人位が集まり、不当逮捕弾劾、時計台封鎖貫徹集会を開く。
	13:00	<p>大講堂前広場で民青系学生、院生、東職、生協職員等約 300 人位が集まり、</p> <p>① 機動隊再入阻止</p> <p>② 不当処分撤回</p> <p>③ 大学の民主化</p> <p>要求のスローガンを掲げ全学決起集会を開く。</p>
	14:30	大講堂正面玄関前の占拠派学生は約 140 人位となり、また民青系の学生、職員は約 550 人位となる。
	14:50	占拠派学生の集団は民青系の集会の後に廻り、盛んにヤジを飛ばし討論の妨害を行なう。
	15:02	双方とも集会を終り、別々に学内デモを行なう。
	17:20	民青系学生、院生、東職等の代表 20 人が医科研事務長室にきて、庶務部の清水事務官に総長に面会したい旨申し入れたが、当日の医科研附属病院の友利当直医が「20 人と面会することは健康上の理由でできない」と説明した。
	20:30 頃	上記代表から全員が面会できないことは了解したが 1 人だけ 5 分位会見したいので総長に伺ってほしいと再度の申し入れがあった。当直医は話をさく程度なら差し支えないとの意見につき、清水事務官が代表 1 人を総長の病室附近まで同行のところ、たまたま総長との面会を終り、病室から退出の事務局長と遭遇したため、前記事務長室で事務局長が 20 人と会見した。その際代表から清水事務官が決議文を受領した。
	22:30	上記代表と事務局長との会見を終った。代表は、「17 日に 30 人で再度総長に面会したい」旨云い残して帰る。
7 月 14 日 (日)	10:00	<p>大講堂 5 階屋上から、下記のたれ幕 4 枚がさがる。</p> <p>「機動隊導入弾劾、声明撤回」</p> <p>「医・文 不当処分白紙撤回」</p> <p>「総長、評議会は団交に応ぜよ」</p> <p>「国大協路線粉碎」</p>
	16:00	<p>大講堂前北側芝生のテント村 3 張りとなる。</p> <p>(新たに理学部物理有志が加った)</p>
7 月 15 日 (月)	8:00	大講堂正面玄関に「職員の皆様へ 今日 10 時から文学部学生ホールで私物の持ち出しについて話し合います」の貼り紙あり。

9:50 ~ 10:20	大講堂正面玄関前に庶務部、経理部等の職員役 120 人位が集まり、私物持ち出しの件につき大講堂占拠の学生 7 ~ 8 人 (医学部は退学者三吉謙、他は文学部、経済の学生らしい) と交渉した。学生側は代表同志で文学部学生ホールで話し合いたいと提案したが、職員側これに反対し、全員が事務室に入り、私物をとり出すことを主張し、交渉はものわかれとなった。
10:00	学部長会議開催 (医科研)
10:10	医学部中央館 3 階に学生 10 人位がいる。 (なお、午前 10 時頃に粒良が 3 階に上る。) 地下は学生 0。 医学部本館前に立看板あり <ul style="list-style-type: none"> <li>7.19 医学部、病院総決起集会</li> <li>すべての医局員、研究者全学に呼応し、決起せよ</li> <li>医学部不当処分白紙撤回</li> <li>医学部教授会、評議会弾劾</li> <li>大河内、上田、豊川ひ免</li> <li>医連合実行委、午後 3 時病院正門前</li> </ul>
11:50	病院研修医ルーム 1 人在室
15:00	学部長会議終了 医学部中央館地下 B02 号室に学生約 50 人位が集まり M2 クラス会が開かれ、医全学斗委員の改選が行なわれている。 3 階には学生 12 ~ 13 人位がいる。
16:00	同館地下 B03 号室に学生約 40 人位が集まり、M3 クラス会が開かれている。
17:00	B02 号室の M2 クラス会終了
19:15	B03 号室の M3 クラス会終了

7月16日(火)	10:00	大講堂正面玄関前に下記の立看板あり。 我々は以下の要求項目を確認し、本部封鎖で斗い抜くぞ 東大斗争全学共斗会議 <ul style="list-style-type: none"> <li>① 医学部不当処分撤回</li> <li>② 機動隊導入の自己批判と声明を撤回せよ</li> <li>③ 青医連を公認し、当局との協約権を認めよ</li> <li>④ 文学部の不当処分撤回</li> <li>⑤ 大学当局は一切の捜査協力 (証人、証言等) を拒否せよ</li> <li>⑥ 1 月以降の斗いに処分を出すな</li> <li>⑦ 以上のことを大衆団交の場で文書を以って確認し、責任者は責任をとって辞職せよ</li> </ul>
	12:00 ~ 13:00	農学部正門で次のビラを配布していた。 職種別懇談会 話題 医学部問題と大学の自治について とき 7月16日 12時~13時 (一般職員、臨時職員)

		ところ 図書館ゼミナール室 東大農学部職員組合
13:12		学部長会議開催 (医科研)
15:50		大講堂時計塔屋上に革マルの赤旗1本が立つ。
16:00		大講堂第一会議室で「全世界の反戦運動」講演会が開かれる模様。学生が「太田竜、弥永健一両氏を講師として招いた学生、院生、職員の皆さん多数参加して活発な討論をお願いします。」と呼びかけている。
17:00		医学部中央館一階エレベーターに向って左側に貼り紙あり。 43クラス決議 医不当処分撤回、研教勝利をめざして ① 医不当処分白紙撤回 ② 機動隊導入声明撤回 ③ 青医連を承認し、協約権を認めよ ④ 機動隊導入責任を取り、証人・証拠等の捜査協力を拒否せよ。 ⑤ 追加処分を許さない 以上を大衆団交の場で文書で交換し、責任者は責任を取って辞職せよ。 勝ち取って行くため全学無期限ストを積極的に追求し、その中で時計台封鎖斗争を積極的に支援し、43クラス会全総体として参加することを追求する。 全学友、院生、職員が参加することを呼びかける。
17:25		学部長会議終了

7月17日(水)	14:10	民青系学生、東職、生協等の代表17名が医研科事務長室にきて庶務部の内田事務官に総長に面会したいと申し入れた。佐々木保健センター助教授、松宮医科研病院医師が「健康上の理由で面会できない」旨を述べ断る。
	17:25	医学部中央館地下B02号室には学生5～6人、3階302号室には15～16人が雑談中。
	20:30	民青系学生、東職、生協等の代表は総長に面会できないことに関し、後日抗議文を持参する旨を云い残して帰る。

7月18日(木)	9:30	去る6月15日大講堂占拠事件で7月17日東京地検は【個人氏名】(医科歯科大学リーダー)を建造物侵入罪で起訴した。 (7月18日朝日新聞朝刊所載)
	18:45	医学部中央館3階には学生数人しかいない。
	23:10	同館3階の学生数変化なし。

7月19日(金)	9:50	医学部中央館3階泊り込み学生数人程度 地下零
	10:00	学部長会議開催 (医科研)

11:40	大講堂から青ヘル8人がヘルメット3ヶを持ち正門から出て、タクシー2台に分乗する。 行方は不明。
12:20	中央大学で行なわれていた中大の反帝全学連大学は午前中社学同統一派が社青同および社学同 ML 派等を会場から追い出したため学生の間で乱斗があった模様である。 午前 11 時 40 分青ヘルの学生が出かけたのは応援にかけつけたものと思われる。
13:40	学部長会議終了
17:20	病院前から医局員、院生等約 40 人がプラカード、赤旗、青旗を持ち大講堂に向けデモ、また青医連約 40 人も、黒旗をもって大講堂に向いデモを行なう。
18:00	学生が正門からリヤカーで竹竿 100 本位を文学部に搬入した。
19:50	革マル全学連の学生入構の情報により正門赤門および竜岡門の3ヵ所に次の立看板を出す。 <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 20px;">                 大講堂の集会は許可しておりません                  他大学の学生の入構を禁止します                  7月19日 東京大学             </div>
19:50	革マル全学連の学生約 120 人（全員白ヘル着用、主力は早大生と思われる）本郷3丁目付近に集結後、正門から入構し、駆足デモを行ない大講堂正面玄関前で集会を開く、革マル大貫副委員長、早大理工学部自治会吉田委員長、東大文学部学生等がつぎつぎ演説「東大斗争全学共斗会議の大講堂占拠を支援するぞ」「反帝全学連の大講堂集会実力阻止」等を叫ぶ。
20:40	学内デモを行なう。
20:55	大講堂前に戻り再び集会を開く。
22:20	(医学部志村教務掛長からの情報) 医学部中央館3階は学生数人がおり、地下は零、なお仄聞したところによれば、社学同と社青同の話し合いがつき明20日は明大で大会を行なう模様(99% 確実の由) 中大附近の警官隊も警備体制を解除した。 (以上の中大の状況庶務部長から学生課長に連絡し、さらに確認した。)
22:35	大講堂前で集会中の革マル派学生、講堂内の反帝全学連系学生に自己批判を求めるとして入口の学生と論争後、内部に入り、大講堂で集会を行なう。

7月20日(土)	0:00	革マル派学生約 100 人大講堂を出て「安保反対」「ブンド粉砕」を叫び、正門-赤門-竜岡門のコースでデモ行進を行なう。なお、大講堂前で残りの革マル派学生 14 ~ 15 人が声高く話している。
	0:15	竜岡門に向った革マル派学生は本富士署前を経て、本郷4~5丁目付近までデモし解散、各自車をひろい帰る。また大講堂前の学生も正門附近の塀を乗り越えて帰る。

8:30	学生部、庶務部および経理部の職員が正門、赤門、竜岡門に分れ警備につき、入構者の検閲を行なう。なお、正門、赤門は大門を閉じ、竜岡門は脇門を閉じた。
9:45	(医学部からの情報) 午前9時5分～同15分頃お茶の水から駿河台に至る路上で社学同学生(赤ヘル着用)約200人が渦巻デモを行ない交通をストップさせている。
12:20	明大講堂には、社青同および社学同 LM 派等の学生約350人、中大学生会館には社学同統一派の学生約400人がそれぞれ集會中、現在までに合同についての話し合いが行なわれているが平行線の状態である。
12:30	その後の状態は特に変化もないため、各門の臨時警備を解く。
13:40	新宿からお茶の水に向う国電中央線に赤ヘル多数が乗車していた。
17:00	社学同統一派は中大学生会館で集會を続行している。
17:00	医学部中央館には学生10人位がいる。 地下は学生零
20:00	赤門の「大講堂の集會不許可および他大学生の入構禁止」の立看板を文学部学生6人(内2～3人は飲酒していた)が破壊した。これを制止した警備員に暴行(頭、腕を負傷)した。学生はそのまま文学部学友会附近に逃げ去った。
11:30	午後10時30分頃 中大2号館附近路上で社学同統一派の学生約500人位と社青同および社学同 ML 派の学生約400人位が乱闘し、機動隊が介入して逮捕者10人が出た。乱闘は約20分続いたが、その後社学同統一派は中大学生会館に入り、社青同等の学生はなお附近に屯している。

7月23日(火)	9:30	大講堂正面玄関前に立看板あり。 本日 4時 「健保問題と青年医師運動」 講師 大井(40青医連) 大淵(43青医連) (他に高根良彦氏を予定)
	12:45	大講堂4階小会議室前ベランダにスピーカー2台を据付け、学生が時計台放送と称し、次の放送を行なっている。 民青系諸君の行動は東大斗争を破壊するものであると非難し、大学当局に対しては下記7項目を要求する。 { ① 医学部不当処分撤回 ② 機動隊導入の自己批判と声明を撤回せよ。 ③ 青医連を公認し、当局との協約権を認めよ。 ④ 文学部不当処分撤回 ⑤ 大学当局は一切の捜査協力(証人、証言等)を拒否せよ。 ⑥ 1月以降の斗いに処分を出すな

		⑦ 以上のことを大衆団交の場で文書をもって確認し、責任者は責任をとって辞職せよ。 また、すべての学友は時計台封鎖要員として参加せよ。
	13:30	学部長会議開催 (医科研)
	14:00	医学部中央館の状況 { 地下 B03 号室 (午後零時から M2 クラス会開催予定のところ 4~5 人位が参集しているのみである。) 地下 B02 号 (午後 1 時から M3 クラス会開催予定のところ 4~5 人位が集り雑談している。) 3 階 310 号室 (数人程度)
	17:15	医学部中央館 3 階 300 号室に学生 10 人位がいる。
	17:40	学部長会議終了
	21:10	医学部中央館 3 階に学生 5~6 人位がいる。
	21:27	大講堂正面玄関の学生の見張りはいない。 テント村は学生 9 人位がいる。

7 月 24 日 (水)	9:30	大講堂時計塔屋上に新たに旗 (上部が赤、下部が藍、中央に白い星のマークが配してある) 1 本が立つ。
	16:40	医学部中央館玄関前に下記の立看板あり。 { M3 横田君起訴さる 7.22 大学当局 = 国大協の官憲をもちいての斗争の圧殺は 2 名の起訴者をもって現在されている 今後も起るであろう逮捕起訴に対して我々はあらゆる戦術をもって徹底して闘うぞ 注. 学生部職員をみつけ次第直ちに連絡せよ。

7 月 26 日 (金)	10:00	研究所長懇談会開催 (医科研)
	13:05	研究所長懇談会終了 (医科研)
	19:20	大講堂内でレコードコンサートが開かれている模様

7 月 27 日 (土)	7:20	赤旗、青旗各 1 本をもった学生約 70 人 (うち 15~16 人は女子) が弥生門から入構し、第 2 食堂前で全学連の旗をもち大講堂から出た学生約 30 人と合流し、バスを竜岡門を經てお茶の水方面に向った。(行先不明、ヘルメットは持参してなかった。なお本日は三木外相のアスパック出席阻止行動が予定されている)
--------------	------	--

7 月 28 日 (日)	15:00	時計塔屋上の黒旗 1 本が消え、代って上部が黒、下部が赤の旗 1 本が立つ。
--------------	-------	--

7 月 29 日 (月)	10:15	医学部中央館地下学生零、3 階の泊り込み学生は 4~5 人位しかいない。 大講堂前南側芝生のテント村 12 張りが 8 張に減少した。
--------------	-------	--

10:50	学部長会議開催 (医科研)
15:50	学部長会議終了 (医科研)

7月30日(火)	10:35	学部長会議開催 (医科研)
	11:50	<p>銀杏並木に下記立看板あり。</p> <p>内容 8月5日全学決起集会 12時～ 時計台前 大学当局のギマン的事態收拾策弾効 7項目要求を大衆団交で認めよ 8月総長選挙強行断固粉碎</p> <p style="text-align: right;">全学共斗会議 反帝学評</p>
	15:40	学部長会議終了 (医科研)
	16:05	43 青医連約 20 人 (内ヘル 3) 医学部本館前でシュプレヒコールを行ない、その後デモ行進して大講堂に入る。
	16:05	大講堂占拠の学生が、本日午後 4 時から大講堂第一会議室において人文系の「朝鮮人問題」ゼミナールが開かれるので学生多数が参加するようマイクで呼びかけている。
16:10	<p>赤門学生掲示板に下記声明あり。</p> <p>声 明 1968.7.29 東院協 執行部</p> <p>7月29日付毎日新聞報道によれば、大学当局は事態の解決のため新たな措置を考えているという。我々の確認したかぎりでは、この報道には相当の信憑性が認められるので公式の発表は未だない現在の段階でも実現の可能性の相当大きいこの措置について我々の見解を明らかにしたい。</p> <p>報道によれば、上田、豊川の辞任、医学部処分の全面還元、総長の辞任、新総長の下での学生の大学自治参加の検討を主要内容としている。第1にこの内容が真実だとすれば我々の「一定」の成果であり我々学生民主勢力の前進、学内反動の後退を示すものである。</p> <p>研究放棄、ストライキ等の我々の断固とした闘い、およびそれと結合した粘り強い教官に対する働きかけの成果である。それは各学部教授会が我々の要求を支持する立場に次々と移行し、ついには医学部と理学部のみ孤立し更に妥協せざるをえなくなった過程をみても明らかである。第2にしかしながら我々はこれを全面的勝利とすることはできない。この措置はいくたのあいまいさが残されており、それ故に反動勢力のまき返しの余地を多分に残しているからである。</p> <p>具体的には</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 6.17 機動隊導入についての経過を発表し責任を明確にし自己批判し、以後導入しないという点がはっきりしない。</li> <li>② 医学部処分の不当性を公然と認めようとせず、従って全面的還元という不明確なものになっている。</li> <li>③ 豊川、上田両氏の辞任についてもその非を明らかにした</li> </ol>	

		<p>上での辞任でなく学生対策的なものである。</p> <p>④ 大学の管理運営への諸階層の参加の仕方についても抽象的で具体的な手だてを含んでいない。</p> <p>⑤ 親書という一方的形式で以上のことを学生につげる点などで不十分であり総じて責任があいまいにされている点が特徴的である。</p> <p>我々はこれらの不十分さをおさえつつ一定の「成果」を真の勝利に転化させるために我々の要求項目を全体で確認しあい今回の事態の責任を徹底的に明らかにし、東大の民主化斗争を腰をすえとりくんでいく決意であることをここに声明する。</p> <p>東院協討論集会 8月3日 午後1時～4時 理1号館 186</p>
--	--	---

<p>7月31日(水)</p>	<p>9:30</p>	<p>大講堂正面玄関前に立看板あり。</p> <p>告示 親書 拒否、大衆団交全面貫徹</p> <p>7月29日毎日新聞朝刊は現在の東大斗争に対して大学当局が事態取捨の具体的方向をほぼ以下の如く確認したと報じている。すなわちその内容は、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1、豊川医学部長、上田病院長今週中に辞任、新医学部長、新病院長選出</li> <li>2、評議会は医学部処分をひとまず処分以前の状態に全面的に還元し全学的な再調査機関を設けて改めて春見事件の真相調査を行う。</li> <li>3、大河内総長は事態の責任を取って今週中にも辞意を表明し直ちに新総長選出の手続きにとりかかる(8月中総長選挙実施)</li> <li>4、機動隊導入については当時としてはやむをえなかったが遺憾であることには変りない。今后はできるだけ慎重にしたい旨を総長が表明する。</li> <li>5、大学の自治の学生の参加については新総長選任の後、全学的に検討する。</li> <li>6、大河内総長は以上の処置およびこれまでの経過についての所信を親書の形で学生に表明する。大衆団交は行なわない。</li> <li>7、上記の基本線に沿って今週中に全ての段取りを整えたいというものである。</li> </ol> <p>我々は現在の報道の信ぴょう性を確証する材料を必ずしも十分もち合せていないが最近における経済学部および社研教官の発言、去る7月24日付日経報道それに対するE評議員の発言、その他諸々の非公式な情報から大学当局がほぼ上記のように事態取捨の基本的方向を確定したことはほぼまちがいないのであろう。我々は本日(29日)この問題につき討論した結果上記の如き大学当局の対応が以下のような点にお</p>
-----------------	-------------	--

いて我々の基本的要求と明確に隔たっており、事態を何ら根本的に解決するものでないことを確認した。

すなわち、まず第1に今回の斗争の発端である医学部不当処分については全面還元という形で処分全体の一時タナ上げが予定されているとはいえ、再調査機関の設置による再検討という形で問題を相変らず医学部斗争の一過程におけるささいな偶発事件たる春見事件についての事実問題に矮小化し、処分の不当性については一切言及していない。つまり処分は正当であるという前提をくずしていない。このような形における全面還元はいかなる意味においても我々の要求する不当処分白紙撤回ではありえず再調査による再処分の可能性はもちろん卒業式以後の斗争に対する追加処分の可能性すら残されている。第2に機動隊導入については一応遺憾の意を表明しながらもあの時点ではやむをえなかったとし、今後はできるだけ慎重にしたい（つまり導入はありうる）という無責任きわまる態度である。第3に以上の点と関連して上田病院長、豊川医学部長辞任、大河内総長辞任は決して我々が要求するような意味におけるそれではない辞任の理由はせいぜい事態を混乱させたことの責任をとるという、しかもあいまいかつ抽象的なものにすぎず、不当処分を行い、機動隊導入を行った当局が明確に当局自体の責任を明らかにするためにその機構の長を辞任させるということでは決してない。単なる首のステカエが当局の免罪符とされようとしているのである。第4に大学自治の問題に関しては学生の「参加」の方向を確認しているとはいえ、その形態については一切未定でありしかもその「可能の形態」を「全学的に検討する」主体は他ならぬ教授会であることは自明の前提とされているように思われる。このような前提ならば教授会自治としてある現行自治のあり方を根本的に変革する方向性が出てこないことは火をみるよりも明らかであろう。

最後に当局はその決定内容は上述のようなギマン性を学生大衆の面前でバクロされることを恐れて夏休みを口実で大衆団交を忌避し今回も又1片の総長告示又は親書という形で決定の伝達をなそうとしている。

我々は以上のような視点から現在大学当局によって煮つめられつつある事態收拾の方向に対して断固反対の意志を表明する。とりわけ大学当局が問題のもっとも本質的な部分たる処分の不当性、機動隊導入の責任等に対する明確な見解表明を回避し、したがって又現行大学の自治のあり方に対する根底的批判をネグレクトした決定を夏休みを口実に告示ないしは親書の形で一方的におしつけることは断じてゆるさない。我々は今こそ不当処分白紙撤回、機動隊導<sup>導</sup>、自己批判、総長辞任を大衆団交で認めることを要求しなければならない。かかる問題に関する大衆団交を実現しないならば学生の自治への参加についてどれ程のことがかたられようともそれ

は空語でしかない。全東大の学生、院生、職員諸兄、事態は急をつけている。再度強固なる斗争体制を討かため要求全面貫徹をめざしてたたかおう。

1968年7月29日 経済大学院自治会

(注) 上記立看板は午後は銀杏並木入口に移動

(あきやま じゅんこ 東京大学文書館)